

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (黒などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した製品やサービスの提供を通じて、生物多様性保全に配慮している。また、定期的に会社周辺の清掃や団地内の草取りや植物の植え替え等に参加し生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6								15						
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			事務所及び倉庫の資源利用の削減、再利用を推進している再生紙の利用や廃棄物の分別、リサイクルに努めている。コピー機等のカートリッジは資源回収、リサイクルに協力している											12.5		14.1							
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ				森林管理認証であるFSC認証を取得することですべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保することに取り組んでいる					6.4	6.6													
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				ながのエコ・サークル(長野市)を取得している			3.9				6	7						12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			【予定】	当社HP等にて環境情報や環境活動に関するレポートを掲載予定															12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】	本社がある長野市の風土環境に適する再生可能エネルギー(太陽光発電・風力発電)は何かを調査し導入計画を検討していく							7.2									13			
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			国際的な森林管理の認証を行ったり認証を取得し、認証林から生産された木材でできた紙製品を扱う事で、陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する事に努めている																12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を定め、社内における周知徹底を図っている社是(信用と誠・創造と探求・人間尊重)に沿った事業展開をしている																		16	16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			社内勤務規律に則り、不正競争行為を含む行動規範の周知及び徹底をしている																			16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本				知的財産を適切に管理し、保護に努めている								8.2	8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本				・特定個人情報等を適切な取り扱いを確保する為に、就業規則及び人事個人情報管理規定の社内規定があり、規定に則り業務を行っている・社員のマイナンバーについては一元管理及び保管する事により保護している																		16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ				鉱業品に関してはISO認証の推進を行う事でサプライチェーンの把握に努めている【予定】取り扱い項目の他商品に関してもサプライチェーンが確認できる商品の扱いに努めている																		16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	納入業者の取り組み姿勢確認を行う体制を組んでいく					5			8			10				12	13	14	15	16
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している				3						8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定